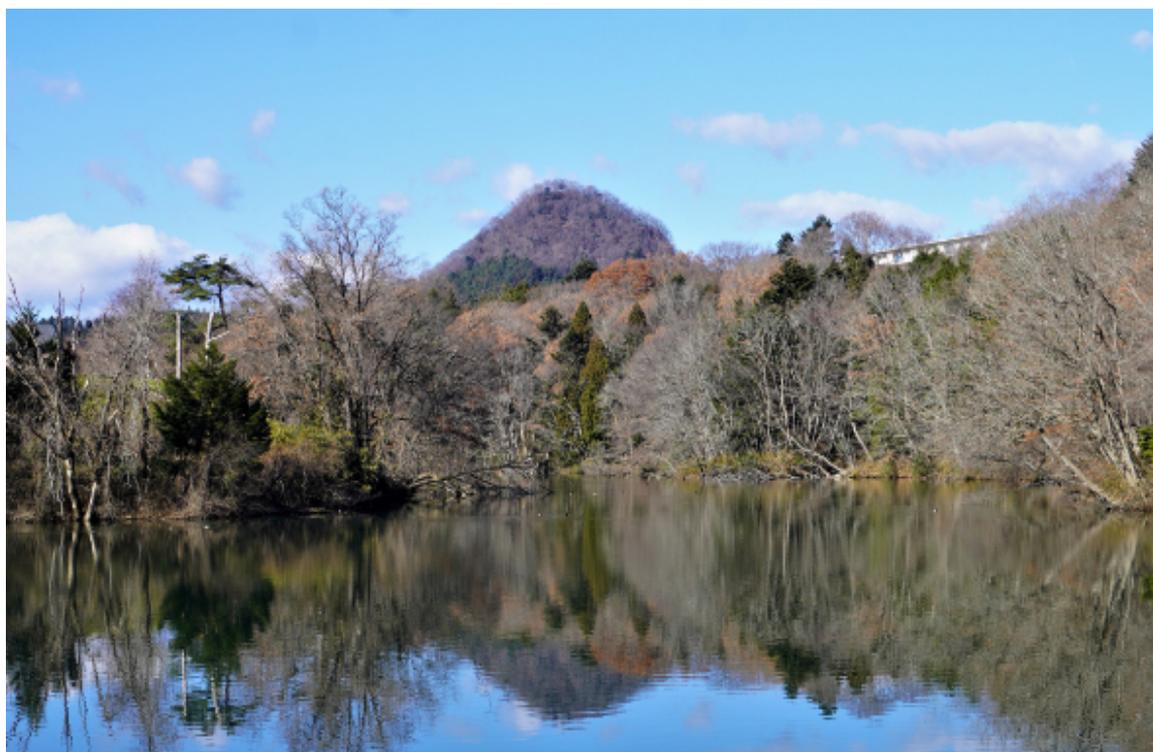




旗立緑地から望む太白山



新年明けましておめでとうございます。 本年もよろしくお願いいたします。

昨年2021年はいろいろなことが起こりました。特に新型コロナウイルス感染症の拡大で太白山自然観察の森においても、春と秋に自然観察センターが臨時休館となりその間のイベントが全て中止となりました。今年は年間を通してイベントが開催されますようお願いを込めて、逆さ富士ならぬ逆さ太白山の写真を新年号の表紙としました。また、昨年の12月から、センターと「であいの道」や「はおとの道」を繋ぐ橋は架け替えのため通行止めとなっていますが、新年1月中旬には開通する予定です。 【写真・文 館長：川上正博】

森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

『一花咲かせる』(ひとはなさかせる)

すっかり落葉して冬枯れの景色となった雑木林。華々しさのない時期ですが、冬越しする生きものの息吹が感じられたり、オオイヌノフグリやセイヨウタンポポなどの花が咲いていたり、思いのほか寂しい様子ではありません。春と間違えたのか、秋から咲き出したヤマツツジやスミレ類の花も見られました。これは狂い咲きや返り咲きといい、気象条件や虫に葉を喰われてしまうなど、何らかの要因で花が季節外れに咲いてしまうことです。観察の森では時々、サクラの仲間やニリンソウ、キブシ、コクサギなどでも確認しています。物珍しさから注目されますが、冬の冷気に当たるなどして、いつの間にか見えなくなってしまいます。

このことから思い浮かんだ言葉は『一花咲かせる』です。「成功して一時的に華やかに栄えること、ひと時の栄光のこと」です。「人の短い期間の活躍や成功について、咲いてもすぐに散ってしまうという花の特徴、美しく咲いている期間はほんのわずかだという花の持つ美しさや儚さをたとえた」言葉です。短い期間の活躍や成功を示しているのがポイントです。私はこの言葉を単に「成功を収めること」だと間違えて認識していて、お笑い芸人や歌手の方に使ったら大変失礼になるところでした。「人生最期までにもう一花咲かせたい」なんて言ったら、「一度も成功していないよ!」と笑われてしまいます。

また、花の開花や生物の出現などの生物季節現象が通常の時期とは著しく異なる時期に確認することを不時現象といいます。観察の森では、早春に咲くマンサクやセリバオウレンの一部の個体が通常のものより2ヶ月も早くに咲いてしまうものがあります。今シーズンは、12月15日に見た時にはもう既に咲いているのを確認できました。単なる個体差の性質なら珍しいと楽しめますが、気候変動の影響だとしたらと思うと心配になります。今後、温暖化によってソメイヨシノがうまく咲けなくなるかもしれないという話題もあります。冬は寒くて苦手ですが、ちゃんと寒いことが大切なのですね。

地球の歴史からすれば、人類の繁栄はほんのわずか。かつて栄華を極めた恐竜と比べてはおこがましい、一瞬の出来事です。最近、世界的に気象災害が増えています。温暖化などの問題を改善し、地球環境を良くしなければ「一花咲かせた」といえるほどの繁栄にはならない気がします。【レンジャー：新田隆一】



太白山周辺でみられる野鳥たち

12月からセンター裏庭で野鳥の餌台を設置していますが、今シーズンは小鳥たちの出入りがとても少ないです。ヤマガラやシジュウカラも少ししかやってこないのでエサがほとんど減りません。こんなに集まらなかったのはここ数年で初めての事です。原因もよくわかっていません。もう少し経過観察したいと思います。

今月はこの季節、太白山周辺でみられる野鳥たちを紹介します。

【レンジャー：齋 正宏】

ルリビタキ



オスは鮮やかな瑠璃色をしている人気の小鳥。この時期は雌雄共に縄張りをつくる。

大きさ：14cm

ベニマシコ



オスは体が赤い色をしている。小さな群れで行動し『フィ』『フォ』と鳴く。センター周辺市道沿いでみることが出来る。

大きさ：15cm

クワイタダキ



日本の野鳥では最小の小鳥。センター周辺の針葉樹林で移動しながらエサをついばむ姿が見られる。

大きさ：10cm

ウソ



小さな群れでやってくる。オスは頬から喉がピンク色。『フィ フィー』と鳴き声が聞ける。草の実や木の芽などを食べる。

大きさ：16cm

ミヤマホオジロ



冬鳥として日本にやってくる。オスは冠羽が立ち、黒と黄色の模様が特徴。

大きさ：16cm

アトリ



オレンジ色の胸が特徴。多数の群れでやってくる。その年によって全く見られない年もある。

大きさ：16cm

トラツグミ



模様がなんとなくトラに似ている。落ち葉を返しなが昆虫や土の中のミズを掘り出す。

大きさ：30cm

ミソサザイ



全身焦げ茶色であまり目立たない。冬場は『チャッ チャッ』と甲高い声で鳴く。

大きさ：11cm

森の「あれこれ」



「冬の蝶 その2」



前回に引き続き冬越しのチョウです。上の写真のどこかに一頭隠れています。「ルリタテハ」という名前ですが翅を閉じていると樹皮の影の部分みたいな保護色で、初めて見る方には難しいかも…。

見つかりましたか？写真の右下に逆さにとまっていますよ。大きな写真をのせておきますので見比べてください（下の写真左）。

「ルリタテハ」は青色の帯が目立つ、深いルリ色のチョウ（下の写真右）で、観察の森では早春の暖かい日にひなたぼっこをしていたり、夏、甲虫と一緒にコナラやクヌギの樹液に集まる姿をよく見かけます。なのに冬越しの姿はめったに見られません。簡単に人間に見つかるようでは、すぐ鳥やけものに食べられるのかもしれないね。無事春を迎えてくれれば…と気にか



ていたら、姿を消しました。暖かい日に移動したの？それとも食べらってしまったのかな。少し切ないけれども愛おしい、今年もそんな生きものたちの様子をお伝えできれば、と思います。【レンジャー：木田秀幸】

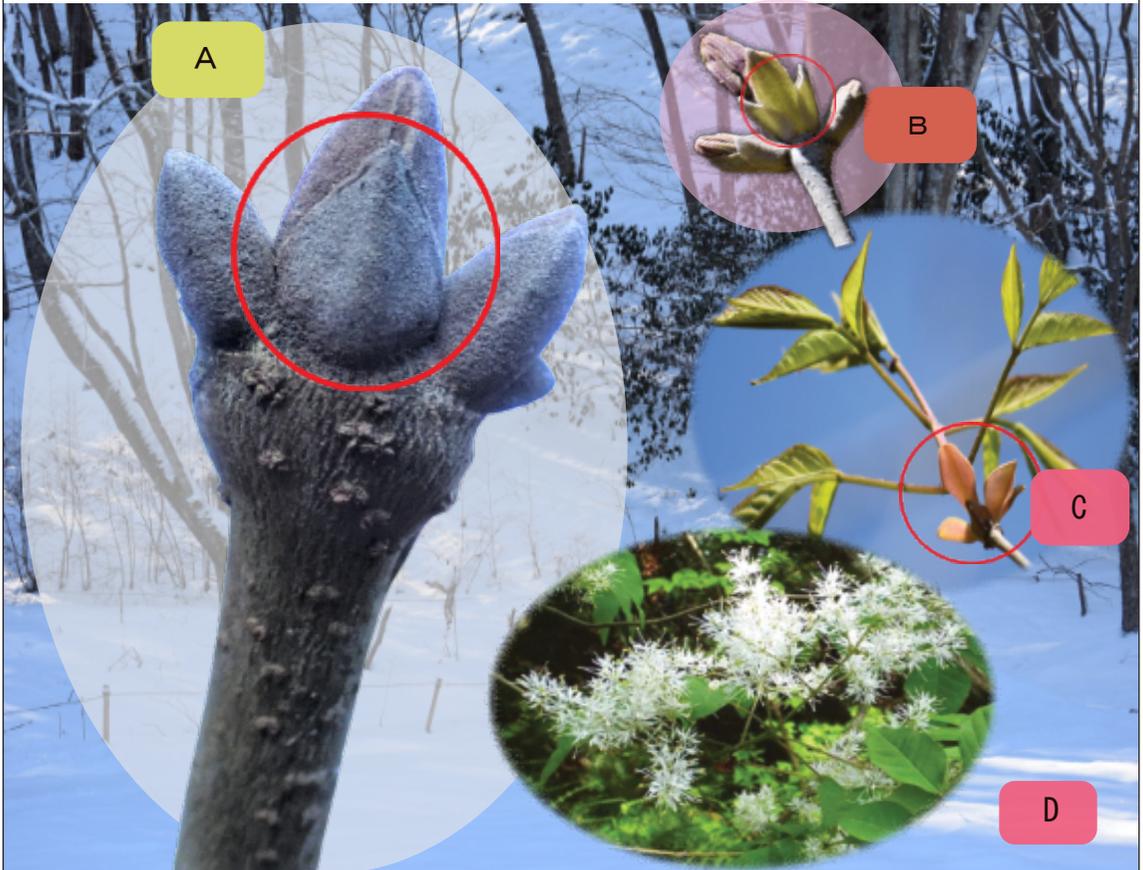
森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

葉を落とした落葉樹の枝には冬芽が見られます。写真Aは枝先に大きな三角の形をした頂芽とその両脇に2つの頂性側芽が見られるモクセイ科トネリコ属のマルバアオダモの冬芽です。冬芽の表面は青灰色の粉状の毛で覆われた芽鱗が鎧のように重なっており、寒さの侵入を拒んでいます。枝の表面には丸い皮目が見られ、空気の入入口になっています。冬芽の中では芽吹きへの準備が粛々となされています。(^^♪



写真Aの赤丸の部分は芽鱗が2枚対になって花芽や葉芽を包んでいます。この寒い時期に写真のB~Dのように冬芽が成長を開始することはありません。日照時間の短い冬は十分に光合成ができませんし、氷点下の寒さにもなれば、葉を作る細胞や運ばれる水も凍ってしまい致命的な打撃を受けてしまいます。植物は適切な時期に芽吹くようにコントロールする仕組みをもっているのです。すごいですね。一方、芽鱗の中では、葉や花そして新しい枝になる部分が芽吹き瞬間を待って着々と準備をしています。落葉までの間に蓄えた養分の多くがこの時のために使われます。植物も人と同じ様に成長の前には耐え忍びの時期があるのです。写真A~Cは芽生えていく様子ですが、写真の赤丸に注目すると芽生えてからしばらくしても花びらを広げたような芽鱗が残ります。4月半ばから5月になれば、厳しい冬を乗り越え、写真Dのような花を咲かせた姿がきっと見られることでしょう。がんばれ！冬芽！(^^♪【レンジャー：菅原幸彦】

1月のイベント & お知らせ



イベント

新型コロナウイルス感染拡大や天候の急変等でイベントについても変更となる場合がありますので、観察の森のブログ等でご確認お願い致します。

参加の際、新型コロナウイルス感染対策のため同意書の記入をお願いしています。

◆「野鳥のレストラン」OPEN

【日 時】3月31日（木）まで

野鳥のためのエサ台を設置しました。暖かい研修室から間近に観察できますよ。野鳥クイズもお楽しみに！

◆「冬期期間のガイドウォークについて」

10:00～11:30のみの開催です。

◆「野鳥かんさつとバードケーキ作り」

室内でエサ台の野鳥を観察しながら野鳥のためのバードケーキを作ります。

【日 時】1月15日（土）10:00～11:30

【定 員】10名（先着）

【持ち物】バードケーキを入れるビニール袋

【申込み】1月6日（木）9時より電話で先着受付

ガイドウォーク 毎週日曜日開催
申込み不要、どなたでも参加できます

開催日：(9日,16日,23日,30日)

時 間：10:00～11:30

**ガイドウォークは3月まで午前
(10:00～11:30)のみとなります。**

休館日



1月4日まで年末年始休館日

11日,17日,24日,31日

毎週月曜日休館、月曜日が
祝祭日の場合は火曜日休館

観察の森へのアクセス



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

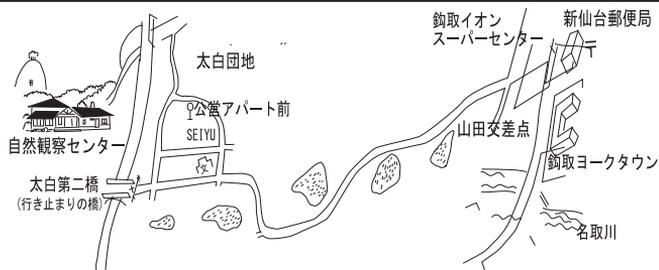
【行先】①②③「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」

※③のみ可「太白団地、山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」

いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター